

石川県西部緑地公園陸上競技場の平成18年度管理状況

施設所管課	教育委員会 スポーツ健康課
指定管理者	財団法人 石川県県民ふれあい公社 理事長 栗原 正一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者より壁面及び床面のタイルが破損している等の意見や苦情等を管理担当者が聞き入れ、修繕等を実施している。 ご意見箱を設置し、利用者の声が聞けるようにした。 <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内唯一の第1種公認陸上競技場に相応しい施設の管理に努めている。 毎年のJリーグサッカーの開催に相応しいピッチ等の整備に努めている。 スムーズな陸上大会の運営や競技進行に協力するため、用器具の整備や準備等を行っている。
利用の促進に関する業務	<p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページに、西部緑地公園内の産業展示館及び県立野球場と共に2ヵ月間の行事予定を掲載。 各競技団体等と連絡を取り、空き状況等をお知らせするなどの施設利用を促進。
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用許可の件数((2)参照) 使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃 : 職員が日頃より場内の美化に努めており、廊下やトイレの清掃などは日々行っている。スタンドは主催者に大会等終了時の清掃をお願いしている。</p> <p>保守点検 : 電光掲示板・電子機器・合併処理施設・機械設備等の保守点検や管理業務は高い専門知識を持つ業者に外部委託している。</p> <p>警備 : 外部委託を行い、西部緑地公園内全ての施設を包括的に実施している。</p> <p>小規模修繕 : スロープ、ボイラー、補助競技場洗い場配管、消防設備、シャッター、電気時計修繕など。</p>
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルを策定し、防災訓練を実施している。 <p>個人情報の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本協定(個人情報の取扱いに係る特記事項)に基づき、管理している。

(2) 施設の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H17年度 (参考)	H18年度	前年度比	増減理由
利用者数(人)	87,235	89,292	102.4%	ほぼ前年度並み

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
陸上競技場等 (個人)	24,254	0	
陸上競技場等 (専用)	36	0	
会議室	5	0	

(3) 使用料の収入実績

使用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
個人使用	1,923千円		
陸上競技場専用	1,216千円		
補助競技場専用	210千円		
会議室	50千円		
電光掲示板	504千円		
夜間照明	474千円		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	48,215	人件費	14,107
		光熱水費	5,801
		修繕費	1,797
		施設管理委託料	22,077
		その他	4,302
合計	48,215	合計	48,084
収支差額	131		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

利用者からの苦情、要望

年月	内容	対応
平成18年10月	写真判定室の天井や壁の塗装が以前使用していた薬品等の影響で剥がれてきている。	天井及び壁の塗装。
平成18年11月	投てき場のハンマー囲いが経年劣化のため腐食し危険な状態になっている。	県対応により修繕。

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 18 年 11 月	雷の影響により場内のほとんどの時計がストップした。	電気親時計を取替し復旧。

その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見等を直接聞き入れ、早急な修繕等を行うなどの管理運営に活かすことでサービスの質を向上させている。 ・陸上競技に精通した職員を配置し、競技運営に協力している。
利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技団体等と常に連絡を取り合い、多くの施設利用を促したことや、周辺の多くの中学生・高校生や夏季に関西地方の大学の合宿等に利用してもらえるようになったことにより、専用利用の減をカバーしている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に関する専門的知識や経験を活かし、仕様書等に基づき適切な管理が行われている。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修・講習が十分なされている。
その他、必要と認める事項(例：苦情処理、個人情報保護)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については基本協定に基づき、適切な管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の競技力向上や県民がより陸上競技に親しみやすい環境づくりに基づいた管理運営がなされており、今後も専門的な知識や経験を活かした管理を期待する。

評価基準

- A (優) : 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B (良) : 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C (可) : 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D (不可) : 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A (優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良): 適正である
- C (可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D (不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし